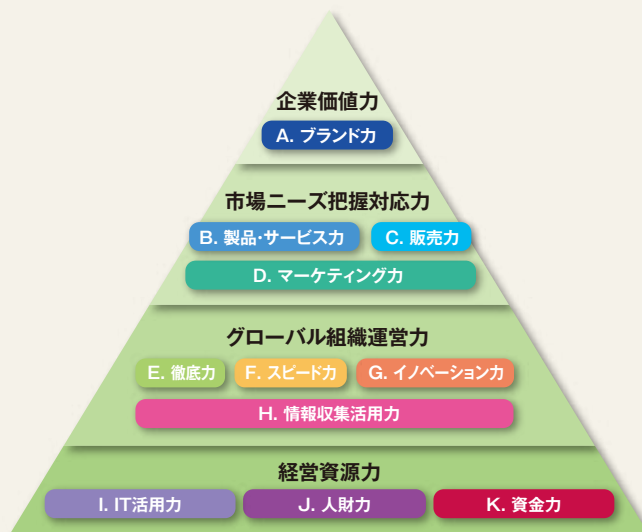


「グローバル企業力診断」を通じて……

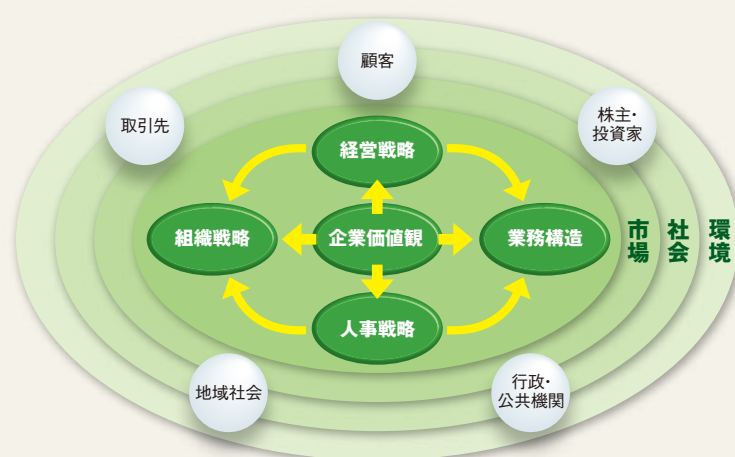
- グローバル企業に変革するためのシナリオが描ける
- 自社の強みを活かしたグローバル経営の組織設計をする
- グローバル人財が育つ環境を整備する
- グローバルな経験知を共有する仕組みをつくる
- グローバルで戦うための競争力が強化できる

当診断サービスが想定する「グローバル競争力モデル」



優れた製品を作り・売るというプロダクトアウトの思考ではなく、グローバル市場の多様性に富んだニーズに的確かつ効率的に応えるためには、経営資源力を基盤としたグローバル組織運営力およびマーケティング力が鍵を握ります。

当診断サービスが想定する「グローバル最適経営力モデル」



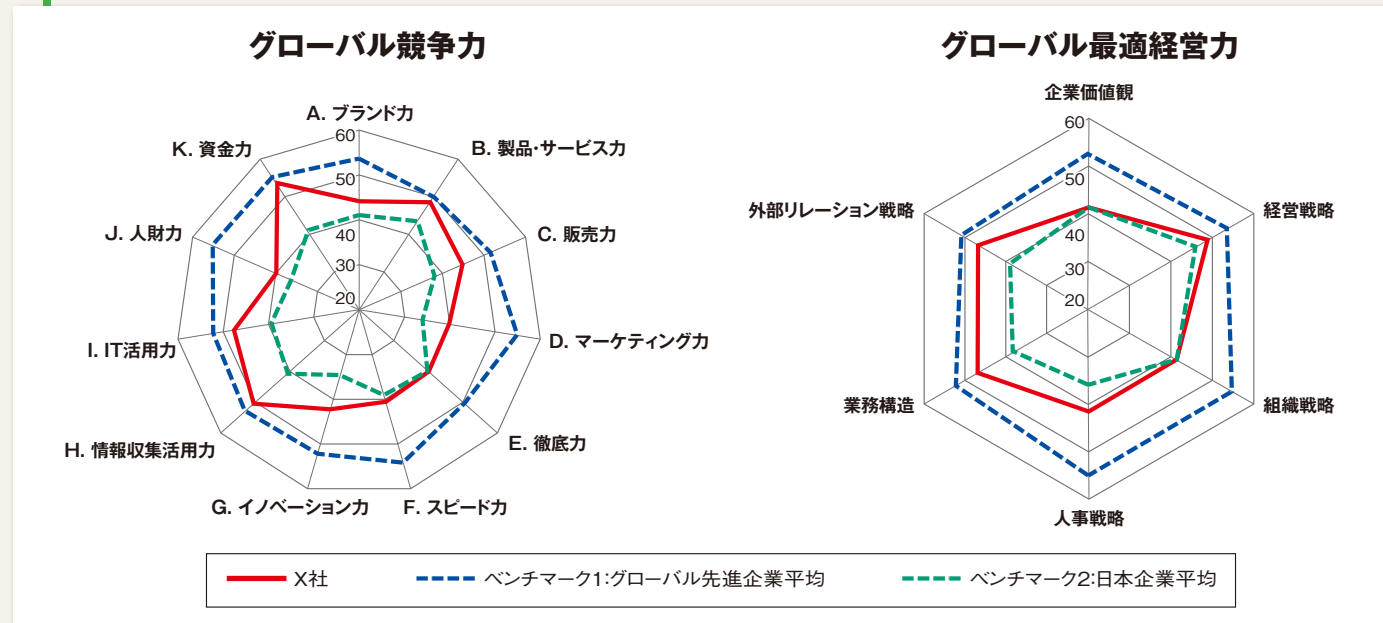
グローバル企業の強みは、世界の各拠点の経験知を共有・活用し、ローカルな競争を有利に戦うことにあります。そのためには属人的な戦いを各地で行うだけでなく、グローバルにナレッジの共有・活用や人財活用がしやすい経営の仕組み作りが重要です。

グローバルな「競争力」11テーマと「最適経営力」6分野にマトリクス配置された診断項目

グローバル競争力	グローバル最適経営力										
	A. ブランド力	B. 製品・サービス力	C. 販売力	D. マーケティング力	E. 徹底力	F. スピード力	G. イノベーション力	H. 情報収集活用能力	I. IT活用能力	J. 人財力	K. 資金力
定義	企業名が市場で認められている付加価値	顧客ニーズを満たすために、顧客に提供される付加価値	顧客に製品・サービスの価値を理解してもらい、金銭的価値に変えるための活動	市場ニーズを把握し、市場に対して自社の提供付加価値を訴える力	経営判断の基準や仕事の仕組みの徹底度合い	経営情報を収集・分析・共有し、判断して、対応策を実行する速さ	新製品開発、新事業開発、海外事業展開、業務改革など変化を起こし、対応する力	経営情報を収集し、分析し、共有し、判断して、対応策を考え実行する力	ICT(情報通信技術)によって、経営効果・効率を高める力	経営者および従業員の質的・量的総合力	資金を調達し、運用する力
企業価値観	○				○		○			○	
経営戦略		○		○	○	○	○	○	○		
組織戦略										○	
人事戦略	○									○	
業務構造		○	○	○	○	○	○	○	○		○
外部リレーション戦略	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

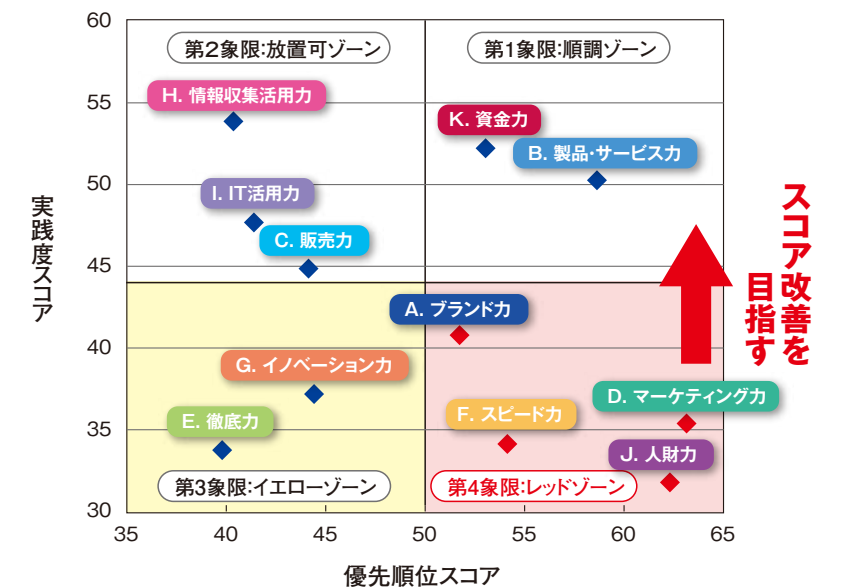
○印の箇所に診断項目(1つまたは複数)があり、空欄には該当する診断項目がないことを示す。

診断チャートの例



X社の競争力の11テーマの実践度は、「B.製品・サービス力」「H.情報収集活用能力」「K.資金力」の3テーマで国内企業平均を上回り、グローバル先進企業にも肉薄していますが、「D.マーケティング力」「E.徹底力」「F.スピード力」「J.人財力」の4テーマではグローバル先進企業に大きく後れをとっています。最適経営力の6分野の実践度は、「企業価値観」「組織戦略」「人事戦略」の3分野での後れが目立ちます。X社は、こうした後れているテーマ・分野について、個別の診断項目に着目し、さらに深掘りして分析し、グローバル企業力向上のための重点施策を立案していく必要があります。

「実践度」だけでなく「優先順位」を組み合わせた2軸で診断



右図で右下の第4象限を「レッドゾーン」と呼びます。レッドゾーンには、優先順位が高いと構成メンバーが考えているにもかかわらず、実践度スコアが低い取り組みテーマがプロットされます。Y社では、「A.ブランド力」と「D.マーケティング力」「F.スピード力」「J.人財力」がレッドゾーンにあり、この4テーマへの取り組みを重視する必要があります。

調査票の文面と報告書での表記の例

調査票「経営戦略」の文面	報告書での表記
製品・サービスを、それぞれの国・地域のニーズに対応して開発・提供している	国・地域のニーズへの対応
世界の中で成長が期待される市場を明確にし、自社製品・サービスに対する市場ニーズを把握するための活動をしている	成長期待市場と市場ニーズの把握
製品・サービスを販売するターゲット(国・地域および顧客層)を明確にしている	販売ターゲットは明確
製品・サービスの価値をターゲットとする市場に対し、継続的に訴求している	価値訴求活動の継続

診断項目は、6分野(最適経営力のくくり)にわたって約80項目で構成されています。ただし、1つの項目が複数の競争力に該当する場合があります。11テーマの競争力のくくりで見ると、90の要素に該当しています。ある項目の回答状況は、競争力と最適経営力のそれぞれのスコアに反映されます。なお、調査票での診断項目の文面は長いため、報告書では簡素化して表記します。